



2 学年修学旅行 広島・神戸・大阪方面へ

～平和・歴史・文化を学ぶ～

12 月 13 日（火）から 3 泊 4 日の日程で、大洲教頭を団長とした生徒 230 名・引率教員 13 名が修学旅行に行ってきました。2 学年は、修学旅行委員長の嘉部井風さん（2 年 5 組 北中出身）をはじめとする 16 名の旅行委員による旅行通信『school trip ニュース』の発行等を通し、事前学習を行ってきました。

修学旅行 1 日目は、到着時刻を一時間ほど遅れて広島空港に到着し、最初の見学地である広島平和記念公園へ向かいました。ここでは原爆ドームも見学しました。資料館見学後、5 歳の時に被爆した大田金次さんによる講演を聞きました。大田さんは原爆投下時の市内の状況（熱線や爆風、火災による被害）や被災の状況、後遺症に苦しめられる日々、核兵器の恐ろしさを語ってくださいました。講演後、生徒会長の相見和花さん（2 年 6 組 東中出身）は謝辞の中で、「原爆の恐ろしさ、戦争の悲惨さを知り、平和を願う気持ちを強くしました。」と述べました。その後、旅行団は宮島へ向かいました。

2 日目はクラス別研修で、厳島神社参拝を中心に、姫路城、宮島伝統会館、お好み焼き体験と多彩な内容でクラス別の見学ができました。3 日目は楽しみにしていた「ユニバーサルスタジオリゾート ジャパン」へ。生徒は班毎にアトラクションや買い物、昼食を楽しみました。最終日はジンベイザメのいる水族館

として有名な海遊館を見学して、新大阪駅から新幹線で帰路に着きました。1 日目、2 日目と雨に見舞われましたが、旅行は行程表通り順調に進めることができました。広島では平和への思いを一層強くし、厳島神社や姫路城の見学を通して歴史や文化を学ぶ等、実り多い修学旅行となりました。



原爆ドーム



厳島神社

書道部 刻字展 多数入賞

第 41 回群馬県刻字展が 11 月 25 日（金）～ 30 日（水）まで、高崎シティギャラリーで開催されました。5 年前に新設された高校生部門に今年も作品を出品しました。結果、小河原結衣さん（3 年 2 組 北中出身）、尾林沙弥さ

ボランティア委員による花壇整備実施

12 月 2 日（金）の放課後、ボランティア委員が玄関前の花壇整備を行いました。今回は群馬県の形に花を配置しました。

本校にお越しの際は、ぜひご覧下さい！



いすたん

ん（3 年 1 組 西中出身）、金谷瑠音さん（3 年 2 組 北中出身）の 3 名が奨励賞、相川彩乃さん（3 年 3 組 西中出身）、新井玲奈さん（3 年 2 組 高南中出身）、井上和佳さん（2 年 4 組 東中出身）、中澤真奈美さん（2 年 6 組 東中出身）、林翔稀さん（2 年 3 組 宮郷中出身）の 5 名が入選となりました。一般の方々の作品と比較するとスタイルや技法では多少見劣りしますが、それぞれ書体や色等を工夫して個性的で見栄えのする作品を出品することができました。

「刻字」は書道の一分野ですが、鑿や木槌を使い「木」に文字等を刻するものなので高校で本格的に行う学校が少ないのが現状です。しかし、本校では 5 年前から取り組み、部員一同楽しみながら行っています。

なぎなた部 佐藤真璃菜さん（2年3組 新町中出身） 全国大会出場へ

11月27日（日）に桐生青年の家アリーナで全国選抜大会が行われ、佐藤さんが、来年3月18日（土）、19日（日）に兵庫県伊丹市で行われる、第12回全国高等学校なぎなた選抜大会の個人試合出場権を獲得しました。佐藤さんはなぎなた未経験者ながら入部し、昨年の夏以降、たった一人で地道に努力を積み重ねてきました。一昨年のインターハイに続き、2回目の全国大会出場となりますが、防具を装着しての試合は初陣となります。まずは一本、初戦突破を目標にしつかりと準備して大会に臨みたいと思います。



弓道部 県予選を突破し、初めての東日本大会へ

11月19日（土）ヤマト市民体育館弓道場で今年最後の大会である東日本大会予選が行われました。団体戦は各校2チームが出場でき、全81チームが参加しました。試合形式は、まず三人で24射し上位16チームを決めてからトーナメント戦に移ります。本校はA・B両チームとも予選を突破しベスト16に残りましたが、残念ながらAチームは1回戦で市立前橋に敗退。Bチームとして出場した青木優花さん（2年5組 新町中出身）、島崎理菜さん（2年5組 東中出身）、斎藤里保さん（2年4組 玉村南中出身）は、初戦で渋川女子と対戦し8対1で勝利。続く準々決勝の健大高崎戦では、両校とも前半から外さないレベルの高い内容でしたが、最後まで気持ちを乱さなかった本校が10対9で粘り勝ちしベスト4が決まりました。

準決勝は新人戦優勝の前橋商業戦でしたが、勢いのある本校が7対5で勝利し決勝進出すると同時に、見事本選への出場権を獲得しました。決勝は市立前橋に9対7で敗れ準優勝となりましたが、この大会は本校が本選出場を未だ果たしていない唯一の大会だったため喜びもひとしおでした。

青木さんは、「決勝まで進めるとは思っていなかったのが嬉しかったです。今までずっと悔しい思いをしてきたので、今年最後の大会でその思いを晴らせて良かったです。東日本大会は3月ですが、1本でも多く当てられるように気を抜かず頑張ります。」と語ってくれました。



吹奏楽部 木管八重奏 西関東アンサンブルコンテスト出場へ

12月10日（土）、11日（日）かぶら文化ホールで行われた群馬県アンサンブルコンテストで、木管八重奏「悲歌」能く道成寺の物語によるバラード」を演奏した金子美咲さん（3年4組 佐野中出身）、青木茉衣さん（2年2組 玉村南中出身）、中村楓さん（2年4組 西中出身）、浅見由紀さん（2年5組 鬼石中出身）、下山寧々さん（2年5組 小野中出身）、村上文音さん（2年5組 北中出身）、瀧澤菜七子さん（1年1組 西中出身）、高田透興くん（1年4組 東中出身）が金賞を獲得しました。このコンテストは、県内各地区から選ばれた28チームが競い合いましたが、本校からは11月の西部地区のコンテストで金賞となった2チームが演奏しました。



木管八重奏の8名は、来年1月29日（日）所沢市民文化ホールMUSEで行われる西関東アンサンブルコンテストに出場します。顧問の前田教諭は、「ぜひ全国へと繋げられるように頑張らせたい。」と語ってくれました。

ロボカップジュニア桐生ノード大会 サッカーチャレンジ優勝！

12月11日（日）に群馬大学理工学部で行われたロボカップジュニア桐生ノード大会において、科学部で2年6組の高津慎哉くん（小野中出身）、矢嶋佑亮くん（玉村南中出身）、竹内佐京くん（玉村南中出身）による「藤岡中央の左足」チームがサッカーチャレンジで優勝しました。

ロボカップジュニアは国が支援する国際科学技術コンテストの一つで、世界大会まで繋がる大きな大会です。サッカーチャレンジは2対2の自律型サッカーロボットによる対戦競技です。3名は高校に入学してからロボット作りを学び、昨年度は群馬ブロック大会で優勝し全国大会にも出場しました。今年度の目標は世界大会です。今後は2月に行われる群馬ブロック大会に向けてさらなるロボットの改良に取り組みしていきます。

